勲三等・瑞宝章
小野塚忠義氏が叙勲
盛会だった祝賀会

祝賀会で挨拶される
小野塚　元県教育長

本村木津在住の元県教育長小野塚忠義氏が、去る四月二十九日県教育功労者として叙勲されました。これを記念する祝賀会が六月二十八日横越村公民館で、祝賀会準備会（会長神田正平）によって盛大に行なわれました。

祝賀会には村関係者、議会議員、教育関係者、嘱託員、地元関係者等百三十名余が出席。小野塚氏の功績を讃え、叙勲のお祝いをしました。

神田準備会長挨拶、渋谷村長、浅見議長、伊藤名誉村民の祝辞の後、小野塚氏から謝辞があり「今まで県教育のために力を注いできたが、今後は地元横越村教育、特に社会教育振興のために尽したい」との挨拶がありました。

同氏は、横越村木津に生れ（明治43年）旧制新潟中、新潟高、東大と進まれ、東京都高校に勤務、昭和二十三年母校新潟高校教諭を振り出しに、与板高校長、県社会教育課長、学事課長、教育次長、新潟高校長、県教育長として活躍。昭和四十年退任後新潟市公民館長、教育長を歴任、現新潟薬科大教授。

〝気分〟晴ればれ
歌で朗らか人生
藤山カラオケ愛好会発足

親子で歌うカラオケまた楽し

藤山地区では、明るい村づくりの一環として、毎日の生活が明るく朗らかであるようさる七月十七日カラオケ愛好会を結成。その発足カラオケ大会が藤山会館で開かれました。

当地区は明るい村づくり運動で、様々な地域活動を活発に展開していますが、肩のこらない誰でも楽しめる〝カラオケ〟がブームに乗って大勢のファンがいることに着目。

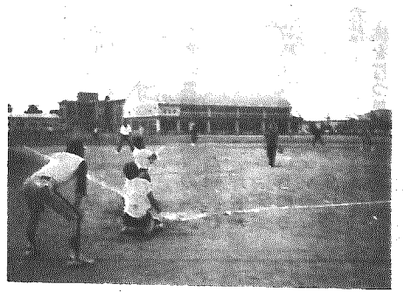
自から歌い楽しみ、人生朗らかなれば地域も家庭も明るく円満と、地区内に呼びかけたところ発足大会には三十七名も集まり、自慢のレパートリーを得意に披露するもの、親子や夫婦で演歌を歌うなど歌い手は勿論、聞く人も大いに愉快でした。

この愛好会の会長田村則男さんもかなりの、のどとか、今後は月一回の練習と講習を計画し、秋祭りには「藤山カラオケ大会」を意気込んでいます。

小学生・婦人も参加
川根谷内地区
親善ソフトボール大会

川根谷地区では、親善ソフトボール大会を七月十二日横越小学校グランドで開催しました。

このソフトボール大会は、去年から始めて今年は二回目地区は最近宅地造成で人口が急増し、とかく近隣関係が薄らぐ等のことから気軽に参加できるスポーツを通じ、親睦を図っているものです。出場チームも去年より増えて十三チームになり選手応援団合せて百五十名余が参加。


第2回川根谷内ソフトボール大会

試合は隣組対抗で選手は男女、小学生等がバラエテーに富んだ混成軍のことからバットを逆に持つ婦人や平気で暴走する等、珍プレー続出でグランドは爆笑につつまれました。

試合の結果は、第一組が優勝、勝敗はともかく地区挙げての和気合い合いは、十二分親睦が深められました。

親子でうまい笹だんご作り
親子劇場

横越地区親子劇場（代表石塚薫会員九十名）では、七月五日公民館で親と子供等で笹だんごを作って会食やゲームをしたりして、存分に親と子が一体になってふれ合い、楽しい一日を過しました。

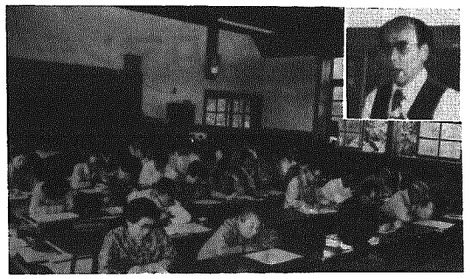
〝親子劇場とは〟親子一緒に工作、ゲーム、劇などを通じて、楽しみながら親子のふれ合いを深め、地域の親と子の和を図るもの。

この日の主題は、笹だんご作りと会食で集まった人は親子で四十名。そのほとんどの若い親たちは、笹だんご作りは自信なしの態。先輩の指導で一生懸命に、粉をねったり結んだりしました。傍らでは子供たちがドロンコ遊びよろしくアンコごねで大はしゃぎ一番の苦心は結び方で子供たちに冷やかされる親は汗また汗でした。

出来上ったものは、大小様々な笹だんごでしたが、みんなで豚汁と一緒にお昼の会食味はまた格別でした。午後はゲーム等を楽しみ笹だんごの土産を分け合いました。

笹だんごで舌つづみ

うっとりと
万葉の世界にひたる
木津分館万葉講座



四月二十二日を第一回として毎月第四水曜日に開いている木津分館の万葉講座は、新津高校有坂厳教諭を講師に招き、回を重ねて七月二十二日で四回目を迎えました。

この万葉講座、ことの起りは一昨年新津市が市民教養講座の一環として有坂教諭による万葉・古今・新古今集の解説講座を受講された山田正三氏（木津）が、有坂教諭の素晴らしい解説に感激を受け、この先生を新津市に独占させておくのはもったいない。横越村の皆さんにもぜひ「あの素晴らしい想いを」の気持から、これが計画、実施となったものです。

当初心配された受講生も、村内はもとより村外（四名）も含めて五十七名の登録に達し、資料が足りなくなり嬉しい悲鳴を挙げるなど回を追って強い関心と盛り上りをみせています。

有坂教諭の単に歌の解釈鑑賞に留まらぬ、その時代の文学的背景、天皇を含めた歌人の史実解説が素晴らしく、歌の素養が乏しいものでも、うっとり聞き惚れ、何時の間にか万葉の世界へひきこまれて行きます。

受講生の顔振れは、男女ほぼ同数で毎回四十名以上が出席。概して地元木津・二本木の方が幾分多く、横越、沢海、小杉、藤駒と村内万遍なく集まり、新津市の方もみられます。

都市計画用途地域変更公聴会

新潟都市計画区域用途地域変更案の基本構想についての公聴会を次に開催しますのでお知らせします。

1. 日　時
昭和五十六年八月三十日（日）十三時より
2. 場　所
新潟グランドホテル
3. 公述人の申出方法
公述申出書を県土木部都市計画課へ提出
4. 公述申出期限
昭和五十六年八月二五日（必着）
5. 公述人の資格
新潟都市計画区域内市町村に住所を有するもの
6. その他
今回の用途地域変更は横越村は該当なし。この件の問い合せは役場建設企業課へ

小林芳保氏

昭和五十六年七月二十一日低蛋血症のため入院先の亀田町渡辺病院で逝去（75才）

故人は、議会議員（1期）消防団長（18年）を歴任されたほか、建築組合長、商工会副会長としても活躍。

村行政や地域振興に功績を残されました。

花火の事故防止

夏の風物詩も
原料は火薬

大人も子供も……家族みんなで楽しめる花火は、夏の夜ならではの風物詩です。

最近は、おもちゃや花火もいろいろな種類が出回り、取り扱い方も複雑なものが増えています。そのため、一歩取り扱いを間違えると、ケガや火災など思わぬ事故に結びつきます。

たとえば、中国製の魔術弾という花火は、筒状の十五連発打ち上げ花火ですが、誤って手に持ったまま火をつけたために、逆噴射して固定用のプラスチック部が腹に突きささり、命を落した子供もいます。また、火花が飛んで子供の浴衣に燃え移り、大やけどするといった事故も少なくありません。おもちゃ花火＝だからといって軽く見ると大変なことになります。夏の夜をいろどる風物詩も、原料は火薬であることを忘れないでください。

花火遊びは、まず、花火の性質、取り扱い方＝をよくのみこんでからにしましょう。

注意書きを念入りに読んでください。そして、子供だけでは決して花火をさせないようにしましょう。

児童扶養手当
特別児童扶養手当

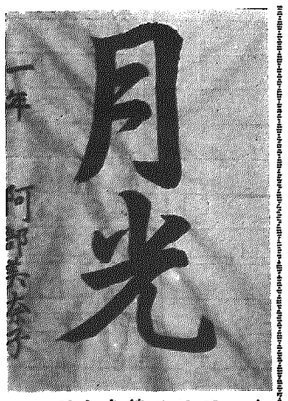
昭和56年8月分から
5.5%～6.7%引上げ

児童扶養手当、特別児童扶養手当が昭和56年8月分からそれぞれ次の通り5.5%～6.7%引き上げられることになりました。（　）内は旧

◆児童扶養手当
- 児童1人　31,200円（29,300円）
- 児童2人　36,200円（34,300円）

◆特別児童扶養手当
- 1　級　36,000円（33,800円）
- 2　級　24,000円（22,500円）

文とも サロン

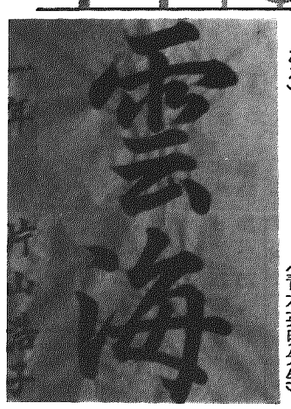


中一ノ二　阿部美奈子

〈評〉
部分＝形をよく整えようとして重くなった感じがある。名前が貧弱になってしまった。（名前も作品の一部である）

全体＝肉太に堂々と書けている。今後は字のなかにリズム（強弱線に太さ、細さ）をつけるように心がけて欲しい。

（青木英明先生）



中一ノ三　片山浩子

〈評〉
部分＝線がやや硬いところがあり、気脈（線と線とのつながりに心が通じていること）にも難がある。

全体＝としては書き慣れた良い作品である。今後は行書の柔らかな線が出せるよう努力して欲しい。

（青木英明先生）